Takeshi Asano

Apr. 2014

浅野 豪　Takeshi Asano

プロフィール

1981	岡山県生まれ
2005	成安造形大学 造形学部デザイン科 写真クラス 卒業

活動歴

2002	グループ展「今日」（京都）
2003	グループ展　VITAMIN P／ギャラリーマロニエ（京都） グループ展　La Nature／成安造形大学 ギャラリーアートサイト（滋賀）
2004	個展　[pose/pause]／立体ギャラリー射手座（京都） グループ展　見ていたこととして／ギャラリー三条（京都） グループ展　ハッシン／同時代ギャラリー（京都） グループ展　Re SPORTS 展／スタジオアーカ（大阪）
2005	卒業制作展　Seian 2005／大津市歴史博物館（滋賀） グループ展　SOUL OF EARKA　Re-Sports 展／スタジオアーカ（大阪） Calender for 2006／アートスペース虹（京都）
2007	Calender for 2008／アートスペース虹（京都）
2009	Calender for 2010／アートスペース虹（京都）
2011	グループ展　これからのそれから／ MATSUO MEGUMI +VOICE GALLERY pfs/w（京都） Calender for 2012／アートスペース虹（京都）
2012	作品展　Surface ／ The PalaceSideHotel（京都）
2013	グループ展　これからのそれから／ MATSUO MEGUMI +VOICE GALLERY pfs/w（京都） Calender for 2014／アートスペース虹（京都） blue project 参加／ MATSUO MEGUMI +VOICE GALLERY pfs/w（京都）
2014	グループ展　これからのそれから／ MATSUO MEGUMI +VOICE GALLERY pfs/w（京都） グループ展　Coincidental perception ／ Kunst Arzt（京都）

anonymous light の活動

2005	Lesson 1 –hidden memory–／ART BEAT KYOTO 元立誠小学校（京都）
2006	Lesson 2 –super higlite–／京都造形芸術大学内 ギャラリー RAKU（京都）
2007	中崎透遊戯室 anonymous light　Lesson 3 –invited camera–／新宿眼科画廊（東京）

code

これからのそれから
グループ展｜ 2014. 4 ｜ MATSUO MEGUMI+ VOICE GALLERY pfs/w（京都）

タイプ C プリント・アクリルマウント

code 1　420mm×420mm

code 2　420mm×420mm

code 3　420mm×420mm

code 4　420mm×420mm

snow puzzle

2014. 2

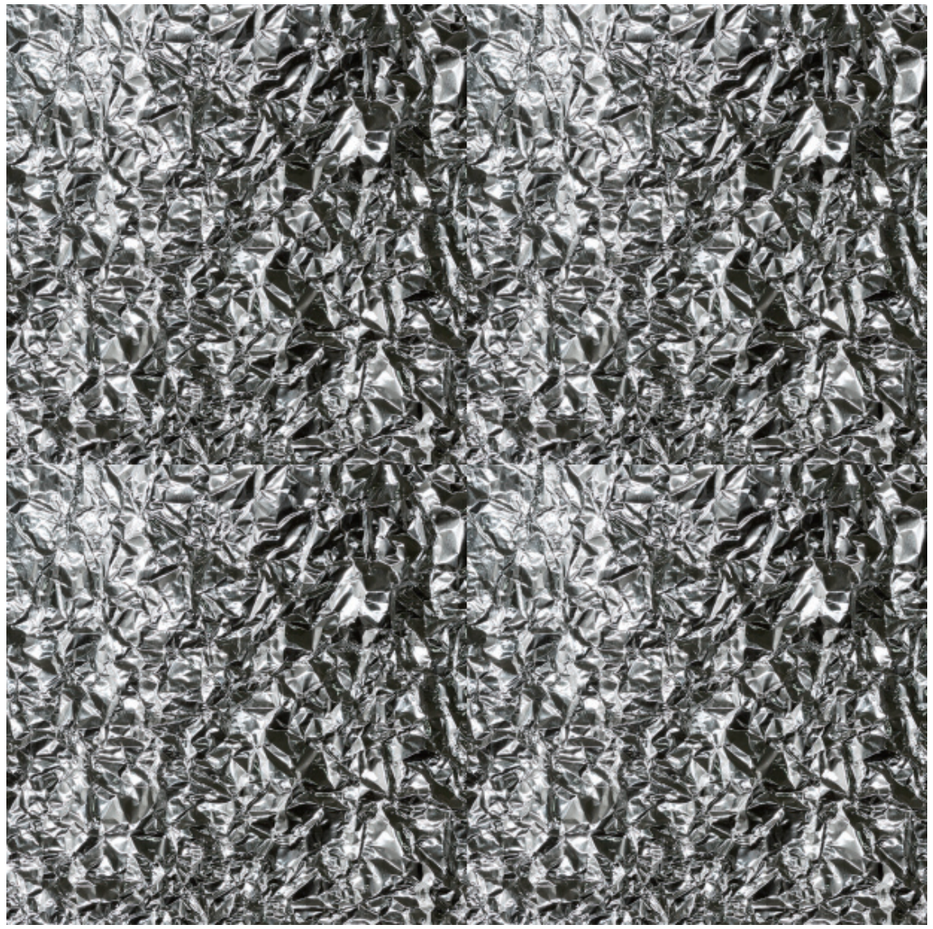
Surface

これからのそれから
グループ展｜ 2013. 5 ｜ MATSUO MEGUMI+ VOICE GALLERY pfs/w（京都）

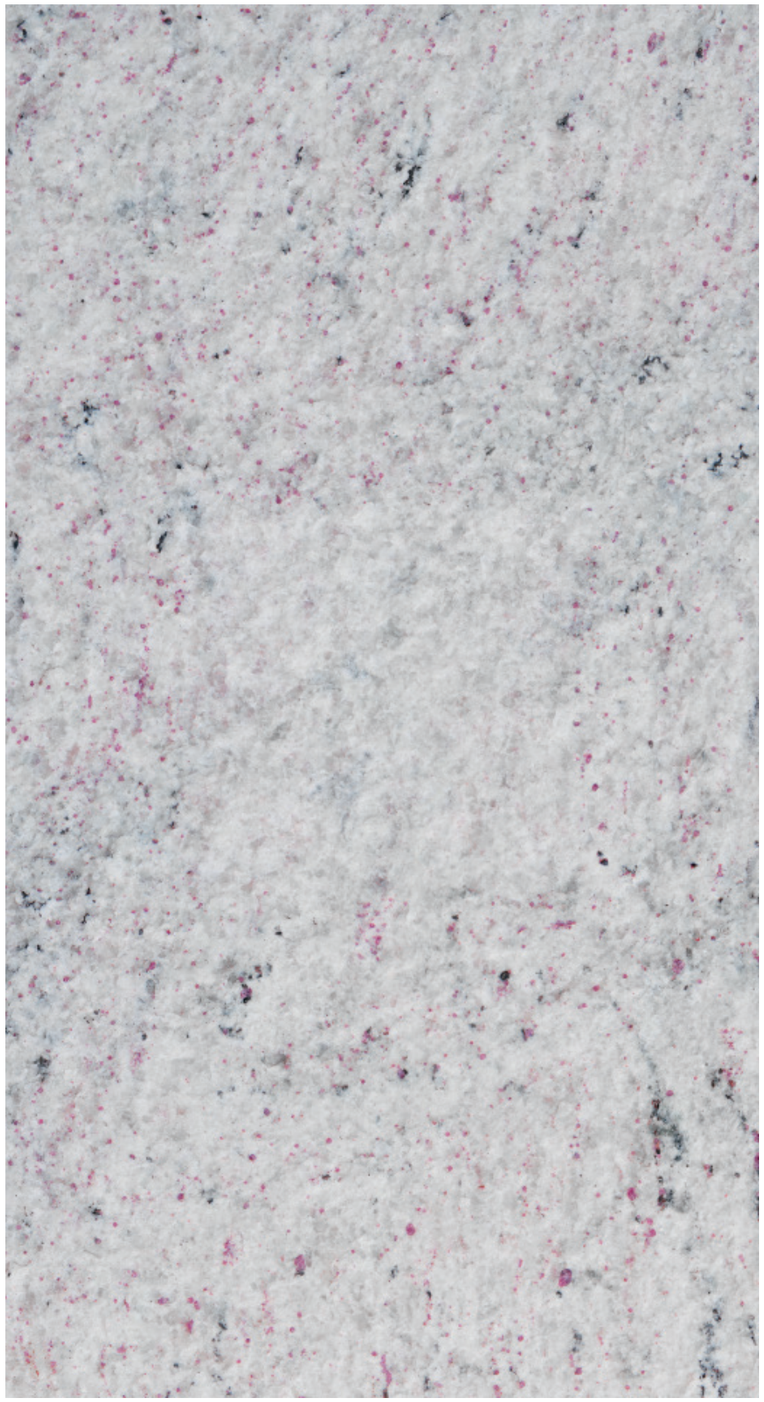
タイプCプリント・アルミ複合板・自由雲台・壁面マウント器具

Surface

タイプ C プリント、アルミ複合板マウント、自由雲台、壁面マウント



Surface [aluminium foil]　550mm×550mm



Surface [stone plate]　670mm×363mm

Surface [blue jeans]　420mm×315mm

Surface [red leather]　320mm×281mm

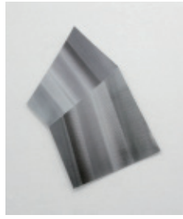
Surface [table top]　930mm×340mm

Surface［群馬での展示］　3000mm×2700mm（壁面概寸）　群馬青年ビエンナーレ 2012 の二次選考のための展示より

blue project | 2012 | MATSUO MEGUMI+ VOICE GALLERY pfs/w（京都）

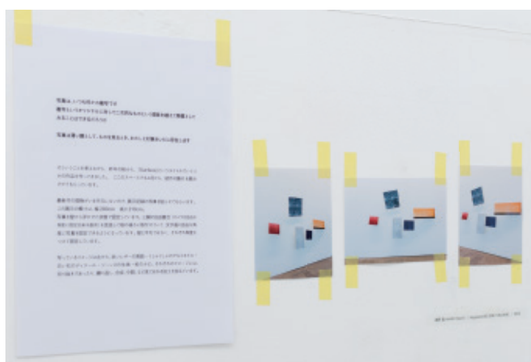
一年間の公開実験場として参加。
Surface の作品のアイデア段階から、制作、展示までの過程を 5 回の展示変えを通して見せる場となった。壁面展示の形を検討する場にもなった。

fragment #1

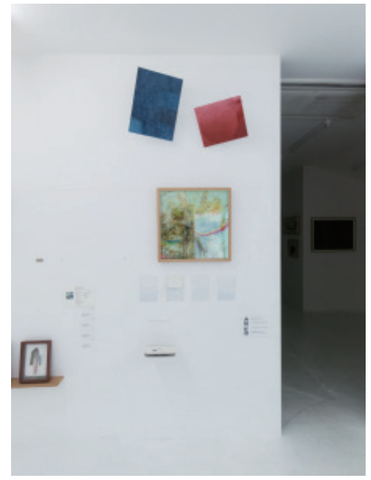


flagmane #2 || Surface | planning

flagmane #3 || Surface | installation report



flagmane #4 || Surface



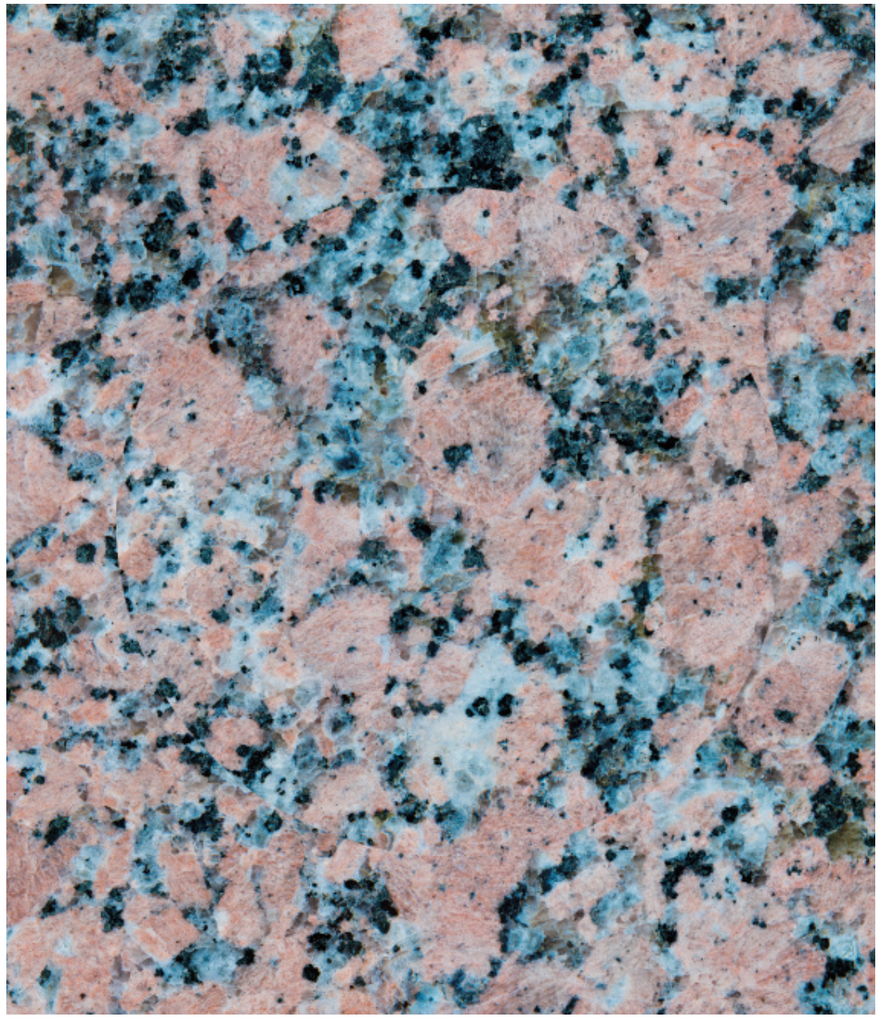
flagmane #5 || Surface

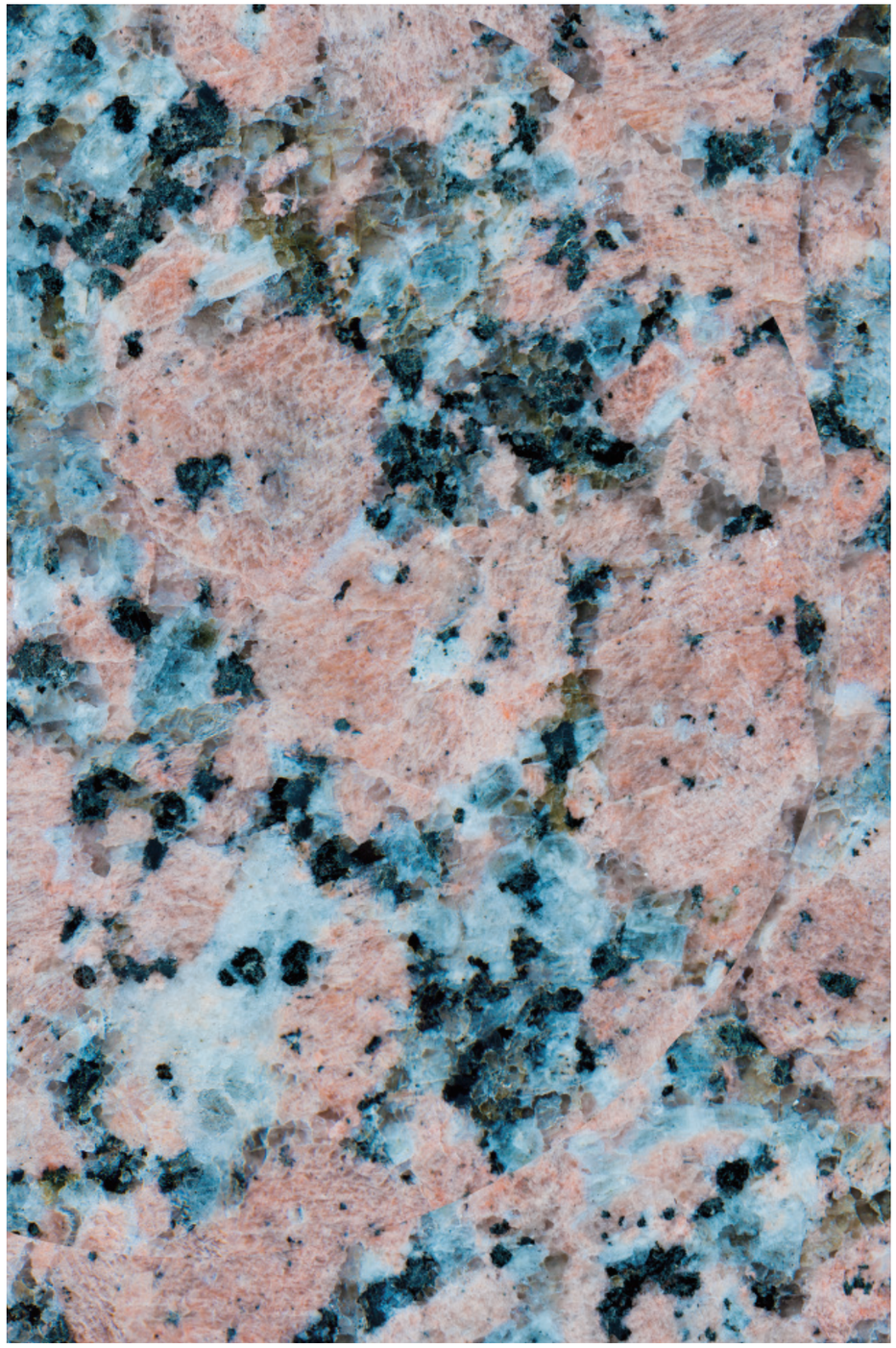
Surface

これからのそれから
グループ展｜ 2011. 10 ｜ MATSUO MEGUMI+ VOICE GALLERY pfs/w（京都）

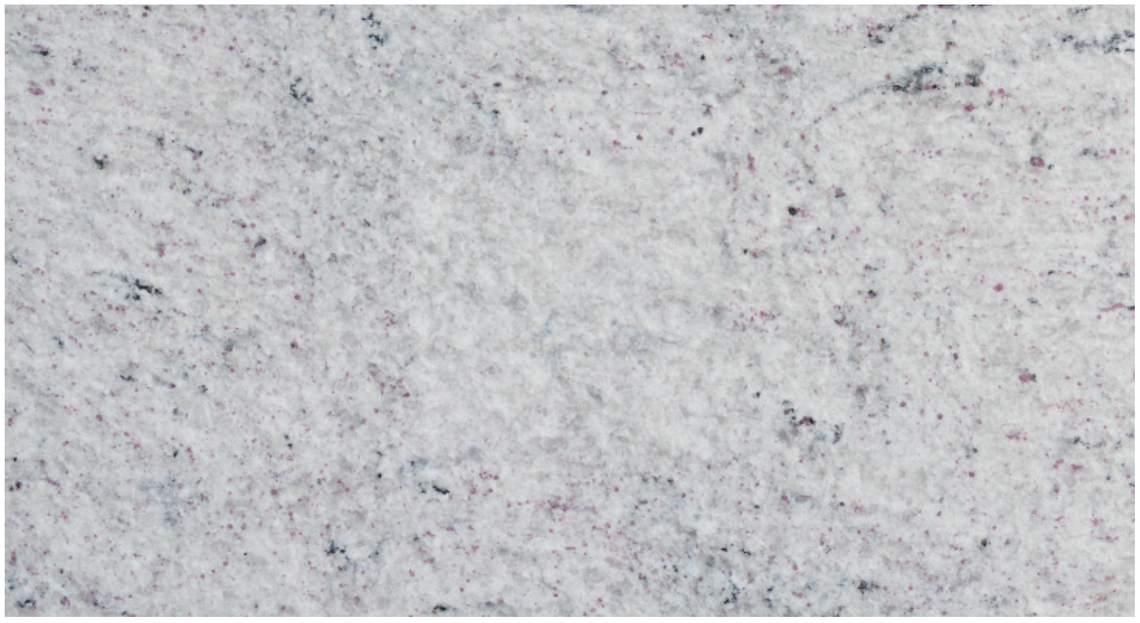
installation view

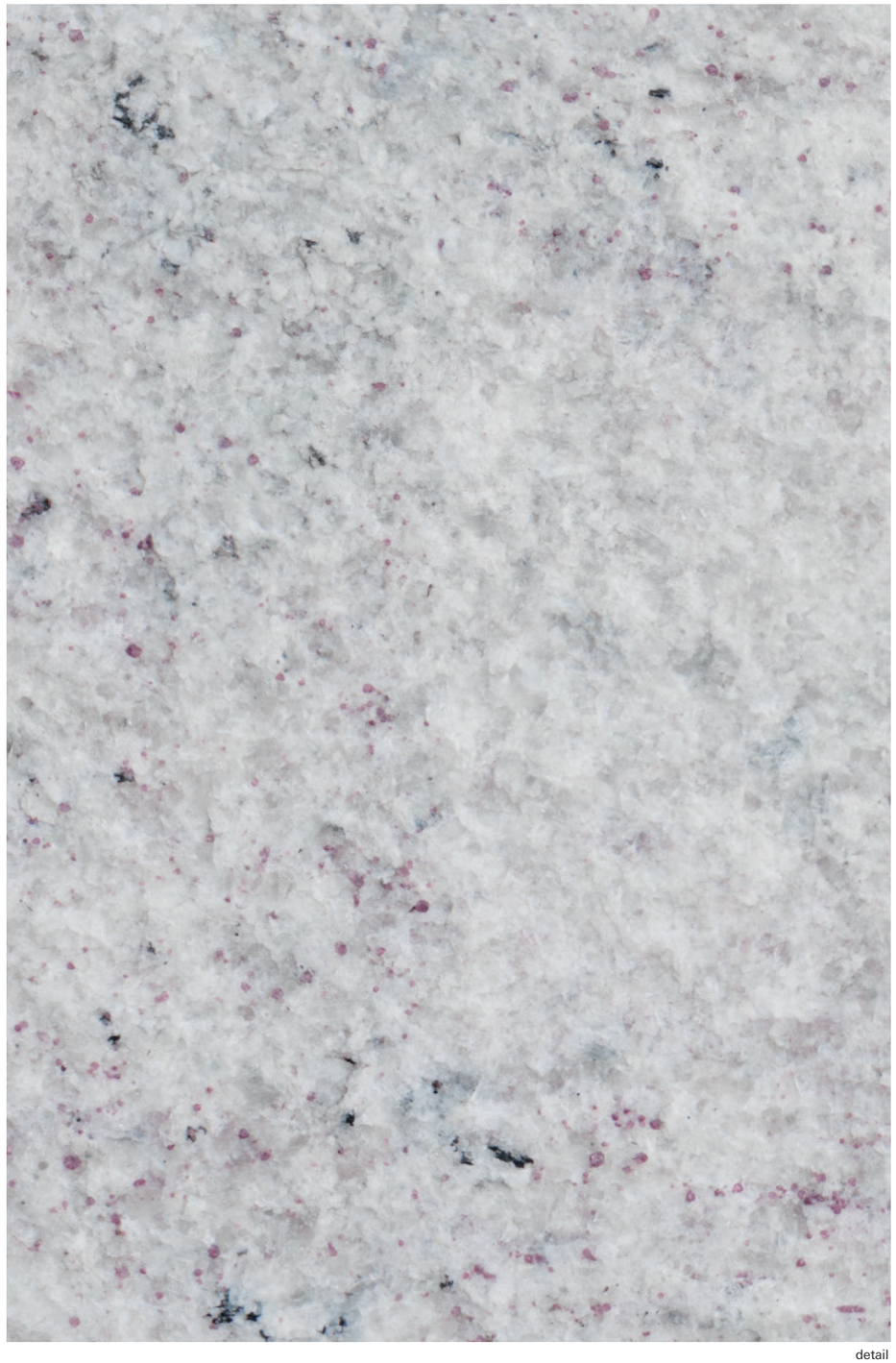
Surface
タイプ C プリント、アルミ複合板マウント





detail

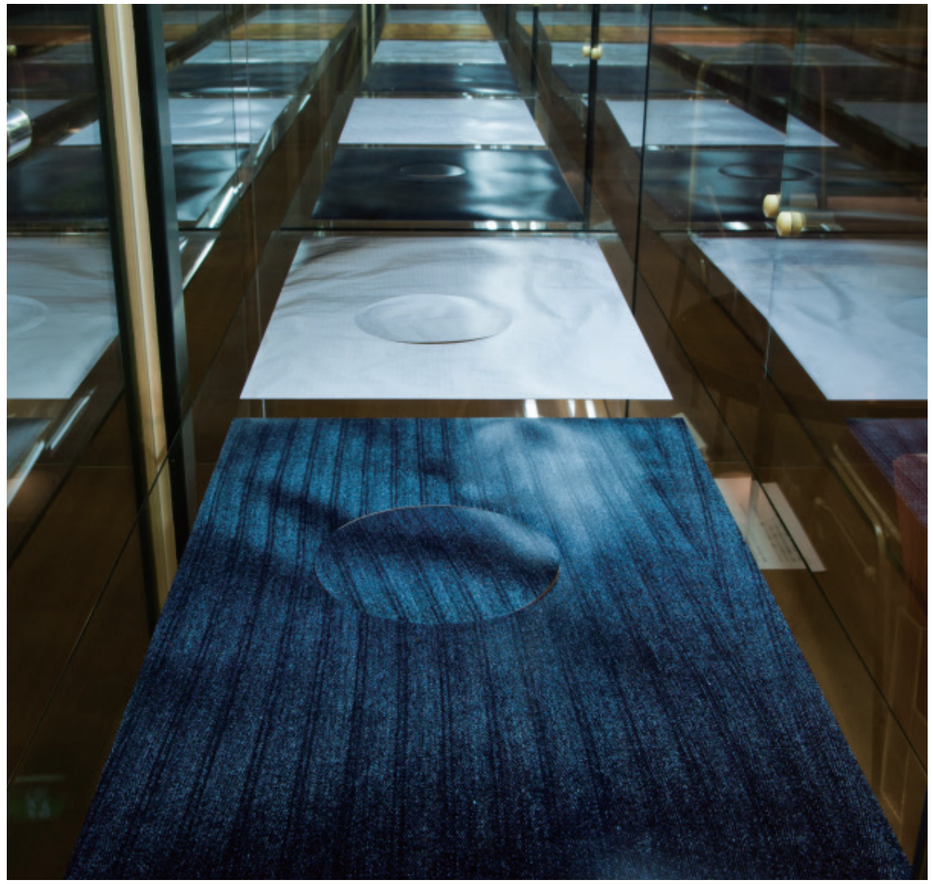




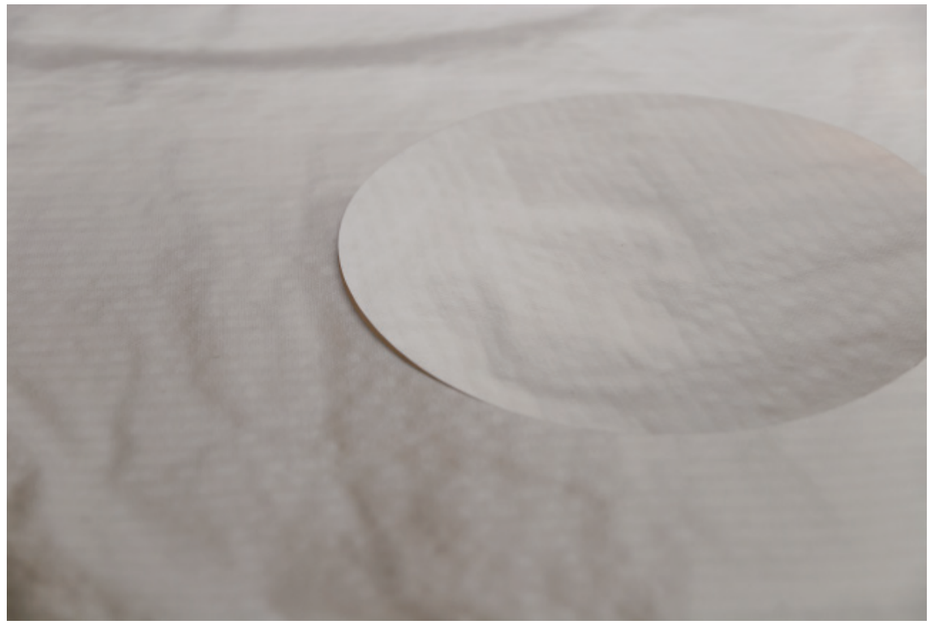
detail

Surface

作品展｜ 2012. 2 ｜ The PalaceSideHotel（京都）



installation view



[pose／pause]

個展｜ 2004. 1 ｜立体ギャラリー射手座（京都）

installation view

[pose／pause]　standing man

タイプ C プリント、写真フレーム、液晶モニタ、コンピュータ

detail

continue

成安造形大学 卒業制作展
2005. 2 ｜大津市歴史博物館(滋賀)

installation view

continue

[pose/pose]
snow puzzle
glass water
surround
tree

detail

[pose／pause]　turn woman

タイプ C プリント、写真フレーム、液晶モニタ、コンピュータ

glass water

DVD（ループ再生）プロジェクター

surround -old man-

タイプ C プリント

snow puzzle

タイプ C プリント

detail

tree

タイプ C プリント

[pose ／ pause]、あなたが想像するまで

見ていたこととして
グループ展｜ 2004. 3 ｜ギャラリー三条（京都）

installation view

[pose／pause] dropping water

インクジェットプリント、写真フレーム、液晶モニタ、コンピュータ

あなたが想像するまで

タイプ C プリント、アクリルダイフィット加工、鏡ハンガー

もしそのとき起これば後悔する

Re SPORTS 展
グループ展｜ 2004 ｜スタジオアーカ（大阪）

instaration view

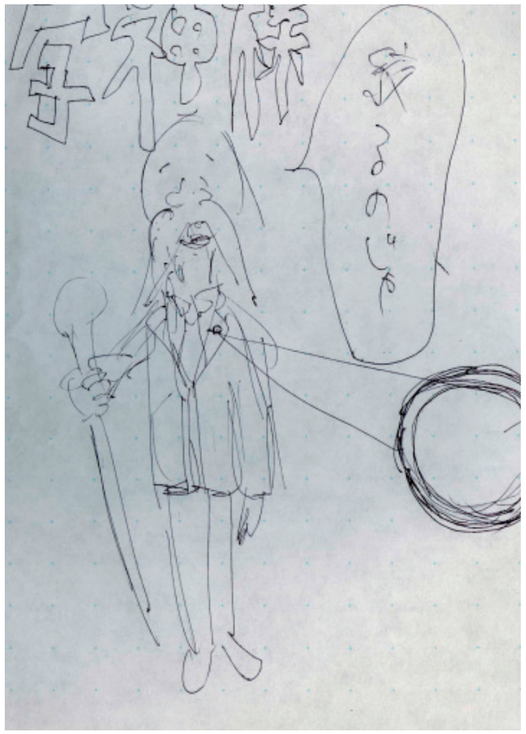
写真フレーム、液晶モニタ、コンピュータ

あなたが想像するまで

写真フレーム、液晶モニタ、コンピュータ

anonymous light の作品

anonymous light
写真について考えるアートユニット。
山城大督（美術家／Nadegata Instant Party）、中村蓉子（写真家）、浅野豪の
3 人で 2005 年結成。2005 年、2006 年、2007 年に展覧会を開催。



anonymous light

Lesson 1 -hidden memory-

“見えない一温室の記憶一”

《それは、かつてあった》が《それは、そこにはない》。
イメージが対象の虚無であるとするならば、
僕たちはそこにある手に負えないメモリーを正視する事を放棄する。

2005

anonymous light 三人で散歩中、道ばたで拾った、ネガフィルムを元に製作。
だれの写真か、写っている人は誰か、なんでネガが落ちていたのか、
その “イメージ” に関する情報は全くない。

ネガとポジを重ねて見ると画面がグレーになり像が消えてしまう。

anonymous light

Lesson 2 –super high light–

“super high light - 撮られた瞬間に閉じられる物語 ”

それは、餌を得るためにそこを横切ったムササビのようなもの。
ここでは、匿名の光に引き寄せられた彼／彼女らの表情を見ることになる。

2006

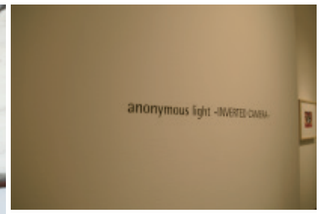
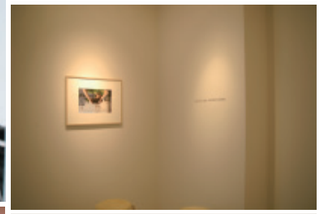
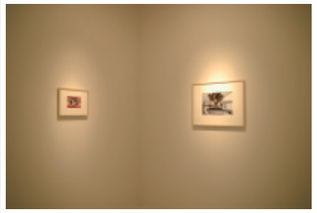
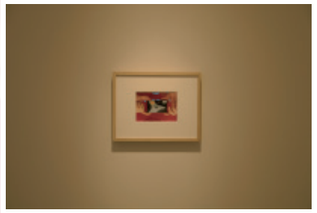
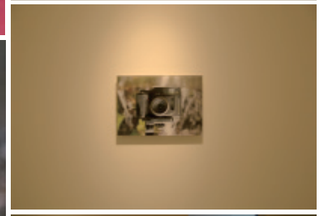
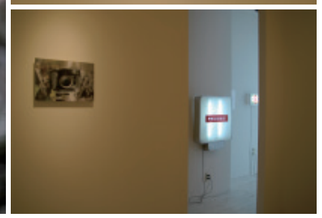
ギャラリー内は暗く、空間に一筋の光が床に落ちている。鑑賞者はその光へ進みそこへ足を踏み入れる。その瞬間、ストロボが発光し、拡張されたシャッター音がスピーカーから響く。鑑賞者は撮影される。すぐに正面のスクリーンに過去にこの装置で不意に撮影された人々の写真がランダムにスライドショーとして再生される。

撮影される側、撮影する側を対峙させる。
写真の暴力性について考えた作品。
誰でもが被写体になりまた撮影者になる。
撮られた写真を見ることで撮影者側に立つ。

anonymous light

Lesson 3 –INVERTED CAMERA–

“INVERTED CAMERA ”

写真を撮影するということは、「世界」を所有すること。
“撮影する世界” と “撮影された世界” の主観を移動させることにより、
写真機の存在を改めて認識する。
そして、所有した「世界」について再考する。

2007